

令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

- 日 時 令和 7 年 6 月 1 6 日(月) 午前 8 時 3 0 分～ 1 0 時 0 0 分
- 場 所 グループホーム ベース リビング
- 出席者 5 名
入居者 1 名、入居者のご家族 1 名、地域住民 1 名
管理者、サービス管理責任者

(1) 開会挨拶、出席者紹介

管理者より、本会議の出席者の紹介をする。

(2) 地域連携推進会議の目的、内容について

グループホームで様々な事件が問題となっていることから、第三者や地域の方など外部の目で見えて頂くことで、事業運営の透明性を高め、支援の質の確保に繋がると考えられる。

(資料参照)

- 目的
- ・利用者と地域との関係づくり
 - ・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
 - ・サービスの透明性・質の確保
 - ・利用者の権利擁護

- 内容
- ・施設による会議の開催
 - ・構成員による施設訪問

- ・利用者や地域住民の代表等で構成される会議を年に 1 回以上開催し、運営状況の報告や必要な要望や助言を聞く機会を設けるものとする。
- ・会議の報告・要望・助言の記録の作成と公表をするものとする。
- ・1 年に 1 回以上、事業所を見学する機会を設けるものとする。

※ 施設訪問は、令和 7 年 5 月 2 3 日(金) 8 時 3 0 分～ 9 時 3 0 分実施済。

(3) 施設等やサービスの透明性の確保について

① 利用者について

- ・現在、男性4名、女性2名 計6名が利用されている。
- ・日中は、就労継続支援B型等に通われている。
- ・利用者の様子を個別に記録している。
- ・入居者同士のトラブルはなし。
- ・食費や日用品費については、購入した分について、毎回、収支を記録していき、領収書を保存している。

② 緊急時に関すること

- ・年2回の避難訓練を実施している。
- ・感染症と自然災害が起きた場合について、マニュアルを作成しており、状況に応じて対応にあたる仕組みになっている。

(4) 施設等と地域との連携について

① 地域行事について

入居者が日中、事業所に出掛けていて、地域行事に参加するというのが難しい面もある。今年度4月に地域の青年団が主催するお祭りイベントに、入居者2名がボランティアとして参加し、カレーやハンバーガーを販売する体験をされた。

今後も地域の情報を収集するなど、入居者の方や入居者のご家族の方にお知らせしていくようにする。

入居者より、「とても楽しく参加出来ました。また機会があれば参加したい。」と話があり。

② 苦情について

施設近隣からの苦情等は、報告なし。

(5) 入居者の権利擁護について

① ヒヤリハットについて

数件報告あり。

内容 通っている事業所からお迎えの車が到着した時に、慌てて走って玄関ドアから飛び出そうとしていた。

対応 送迎時、声掛けをし、職員が本人の前を歩き玄関まで誘導し、送迎に来ている支援員さんに引き継ぐようにする。

② 事故報告について

事故報告はなし。

③ 虐待について

虐待報告はなし。

④ 意思決定について

日頃の関わりが一番重要で、会話しやすい雰囲気や関係づくりが必要である。

自分の考えを押し付けていないか、入居者の希望に沿っているか支援者として常に問い続けていく必要がある。

(6) 質疑応答・感想（本日の会議、施設見学含む）

① 入居者

「今のグループホームでの生活はとても楽しい。満足している。」

② 入居者のご家族

「以前は別の事業所に入所していたときは、情緒不安定な状況であったが、現在のグループホームでの生活では職員の方々が良く支援して頂き、心身共に安定した生活が送れていて助かっている。引き続き、今後ともよろしく願います。」

③ 地域住民の方

「施設訪問時に、利用者6名分の個別ファイルを一齐に開いて記録されていたので、個人情報の取扱いが気になった。」

⇒ 管理者より、「個人情報の取扱いには細心の注意を払い、今後に対応していきます」との回答あり。

(7) 閉会挨拶

本日の会議並びに施設見学より得られた貴重なご意見等踏まえ、今後の施設運営に活かしていきたいと考える。